



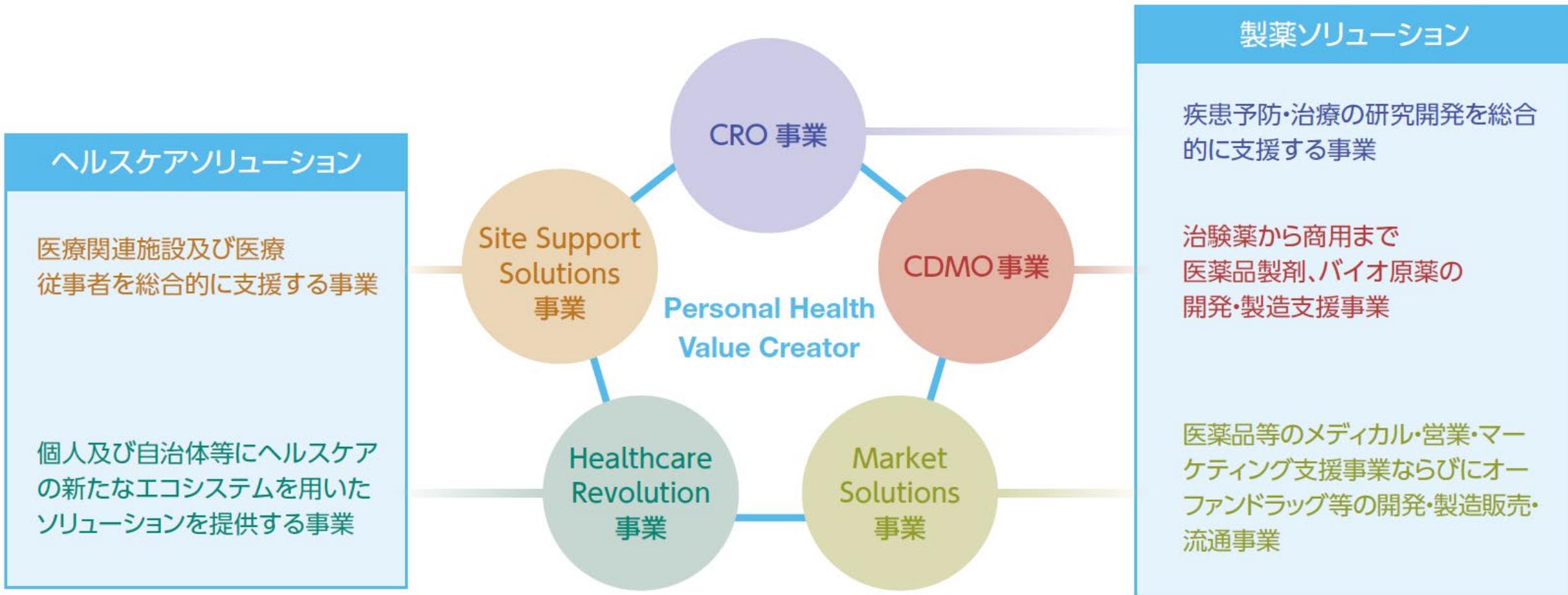
2022年9月期 第3四半期 決算概要

(2021年10月1日～2022年6月30日)

シミックホールディングス株式会社

2022年7月29日

グループ事業内容

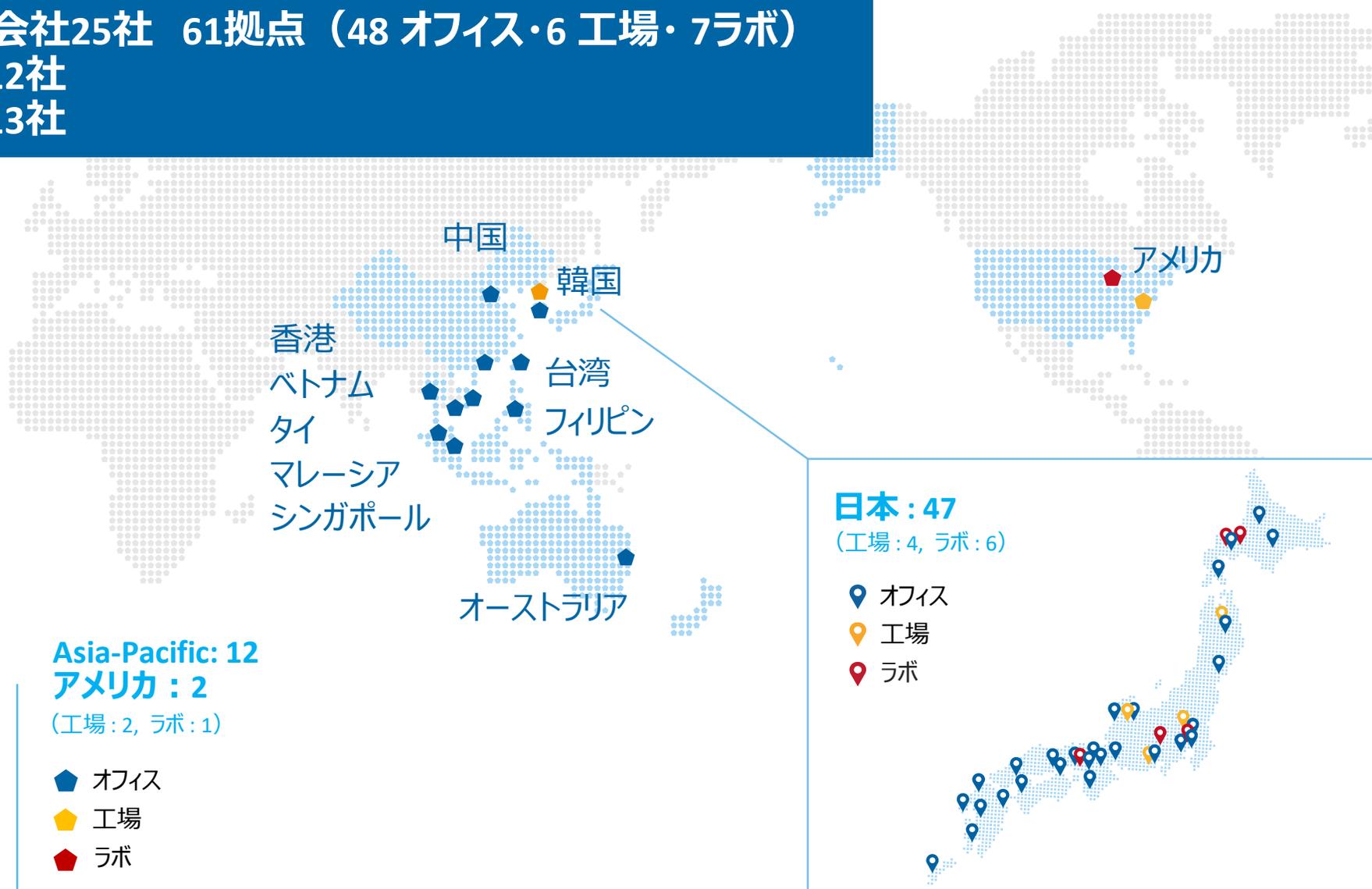


グループ拠点展開



グループ会社25社 61拠点 (48 オフィス・6 工場・7ラボ)

国内 12社
海外 13社



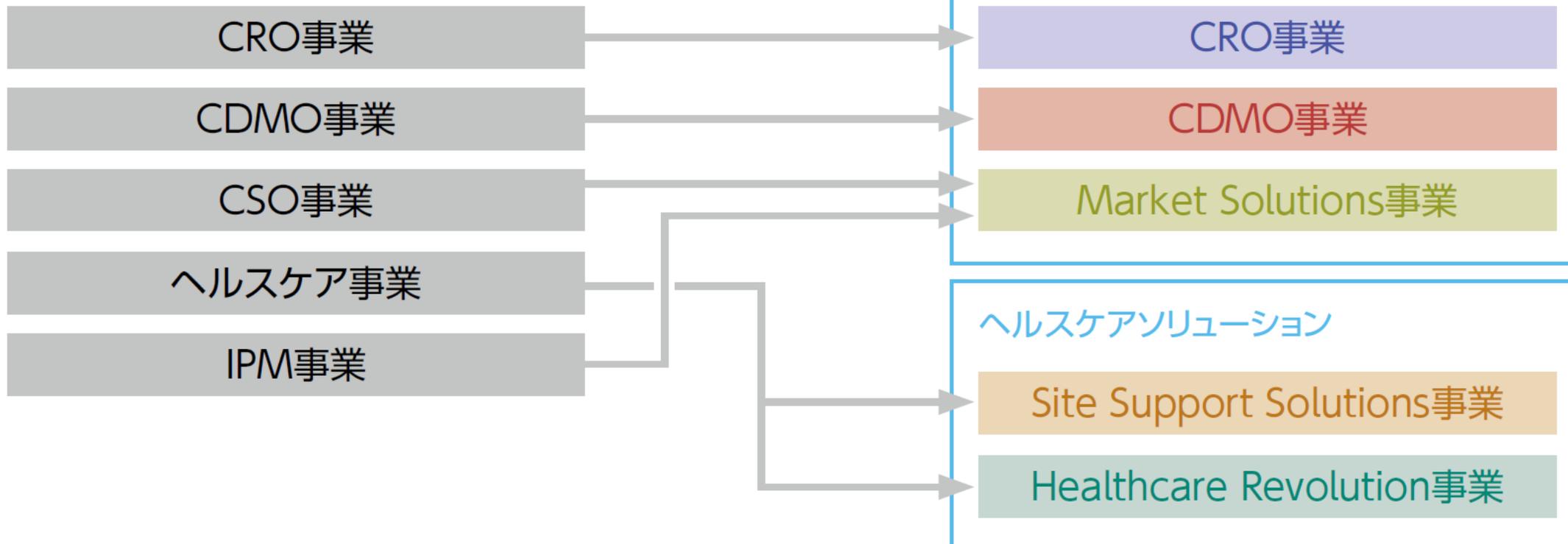
報告セグメントの変更



FY22より、PVCモデルを展開する「製薬ソリューション」と、医療機関・自治体等を通じて個人の健康に寄与する「ヘルスケアソリューション」の2つのセグメントに変更

新セグメント FY2022以降

旧セグメント FY2021





ヘルスケアビジネスの進展

疾患予防・治療の研究開発から販売まで
総合的な支援の強化

社会的有益性の高い事業を通じた
サステナブルな社会への貢献





ヘルスケアビジネスの進展



- 自治体のコロナワクチン接種・PCR検査支援・健康観察など感染者フォローアップ
 - 新型コロナワクチン接種情報管理システム 「harmoワクチンケア」の活用
 - コールセンター（副反応相談対応）、人的支援（医師・看護師紹介、運営スタッフ）
抗原検査キット販売
- 地方自治体との連携
 - 山梨県北杜市「harmoワクチンケア」導入による接種記録利用の市民サービス展開
 - 新潟県妙高市と新型コロナウイルス感染症対策と健康増進に係る包括連携協定を締結
 - 「harmoワクチンケア」アプリ、羊蹄山麓7町村で子供のワクチン誤接種防止に活用

➤ セルフチェックサービス「Selcheck®」の促進

ーIoT、ウェアラブルデバイスから得られる生体センシングデータ、自己採取による郵送検査等を活用し、疾病の予防、早期発見に貢献へー

パピア™：HPVウイルス検査

レナテスト™：慢性腎臓病の重症化リスクの指標L-FABPの検出

* 栃木県足利市の慢性腎臓病（CKD）予防の取組に協力



➤ harmo®の機能強化

- ・電子お薬手帳機能-10月新バージョン（アプリ）リリースに向けた開発が順調に進捗
- ・調査情報の提供ー「新型コロナワクチンに関する動向及び意識調査」

➤ P H R (Personal Health Record)活用への取り組み

2022.6 「P H Rサービス事業協会（仮称）」に参画

健康・医療に関する様々な主体が持つデータを効果的に利活用するための標準化や、PHRサービスの品質向上を促進するためのルール整備などについて検討

参画企業：P H Rサービス事業を展開する計15社
(SOMPOホールディングス、KDDI、イーザイ、
塩野義製薬、オムロン、Welby、MICIN他)



シミックは「分科会2」の幹事として、PHRで取り扱う情報の標準化やポータビリティの確保に向けた課題に取り組む



疾患予防・治療の研究開発から販売まで 総合的な支援の強化

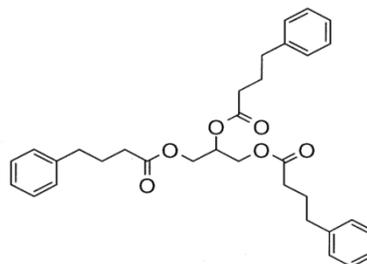
➤ 医薬品・医療機器開発のスピード化・効率化の促進

- Science 37®とDecentralized Clinical Trial (DCT) 促進と医薬品開発のスピードアップに向けたパートナーシップを締結
- DCT（遠隔診療、訪問看護、ePROなど）を取り入れた試験の増加
- ブロックチェーン技術を活用した治験実施を支援
- 日本企業で唯一、医薬品安全性情報管理システム Oracle Argus Safety マルチテナントレンタルサービス（グローバル安全性データベースを顧客ごとに分割レンタルし、運用管理を行うサービス）を開始



- ▶ バイオアナリシス業務において、次世代バイオ医薬品や遺伝子治療薬など、モダリティの多様化が進む先端領域の創薬支援
- ▶ 尿素サイクル異常症治療薬グリセロールフェニル酪酸（海外販売名 Ravicti®）の日本における開発・製造販売に関する独占的ライセンス契約締結

※**尿素サイクル異常症（Urea Cycle Disorders: UCD）**
肝臓の尿素サイクルの酵素が先天的に欠損することにより、アンモニアが代謝できず、高アンモニア血症を来す。





社会的有益性の高い事業を通じた サステナブルな社会への貢献

- シミック、子育てサポート企業として「くるみん認定」を取得
- 第18回「日本エイズ学会 学会賞（シミック賞）」の授与、
第13回「国際児童絵画コンクール」の共催
- Rare Disease Day（世界希少・難治性疾患の日）活動支援
- 障がい者アスリート支援



連結損益計算書（要約）



	FY2021/Q3		FY2022/Q3		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額	構成比	金額	構成比		
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)		
売上高	59,146	100.0	78,367	100.0	+19,221	+32.5
営業利益	3,571	6.0	9,280	11.8	+5,709	+159.9
経常利益	3,733	6.3	10,440	13.3	+6,707	+179.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,943	3.3	5,932	7.6	+3,988	+205.2
1株当たり 四半期純利益	107円44銭		330円30銭			

【ウクライナ情勢の影響について】当第3四半期連結累計期間までの当社グループへの影響は軽微です。

営業外損益・特別損益・税金費用・非支配株主損益の内訳



(百万円)

	FY2021/Q3	FY2022/Q3		FY2021/Q3	FY2022/Q3
営業外収益内訳	329	1,314	特別利益内訳	136	—
受取利息	1	2	関係会社株式売却益	19	—
為替差益	146	1,222	債務免除益	117	—
持分法による投資利益	20	—			
その他	161	90	特別損失内訳	95	79
			固定資産除却損	56	71
営業外費用内訳	166	153	投資有価証券評価損	39	8
支払利息	99	112			
その他	67	40	法人税等	1,626	4,258
			非支配株主に帰属する四半期純損益	203	170

報告セグメント別売上高および営業利益



		FY2021/Q3 (百万円)	FY2022/Q3 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
製薬ソリューション	売上高	50,159	56,977	+6,818	+13.6
	営業利益	3,632	4,139	+506	+13.9
ヘルスケアソリューション	売上高	9,404	21,862	+12,457	+132.5
	営業利益	884	6,210	+5,325	+602.0
調整額	売上高	△418	△ 472	△54	-
	営業利益	△946	△ 1,069	△122	-
合計	売上高	59,146	78,367	+19,221	+32.5
	営業利益	3,571	9,280	+5,709	+159.9

* 調整額

売上高は、報告セグメント間取引の内部消去であります。

営業利益は、各報告セグメントへ配分していない全社費用であり、当社（持株会社）に係る費用であります。

受注高・受注残高



	FY2021/Q3		FY2022/Q3			
	受注高	受注残高	受注高	増減率	受注残高	増減率
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
製薬ソリューション	52,467	69,922	65,500	+24.8	79,419	+13.6
ヘルスケアソリューション	15,183	18,045	22,279	+46.7	17,438	△3.4
合計	67,651	87,968	87,780	+29.8	96,857	+10.1

売上構成比



FY2021 Q3

ヘルスケアソリューション

15.8%

売上高
59,146百万円

製薬ソリューション

84.2%

営業利益 3,571百万円

営業利益率 6.0%

FY2022 Q3

ヘルスケアソリューション

27.7%

売上高
78,367百万円

製薬ソリューション

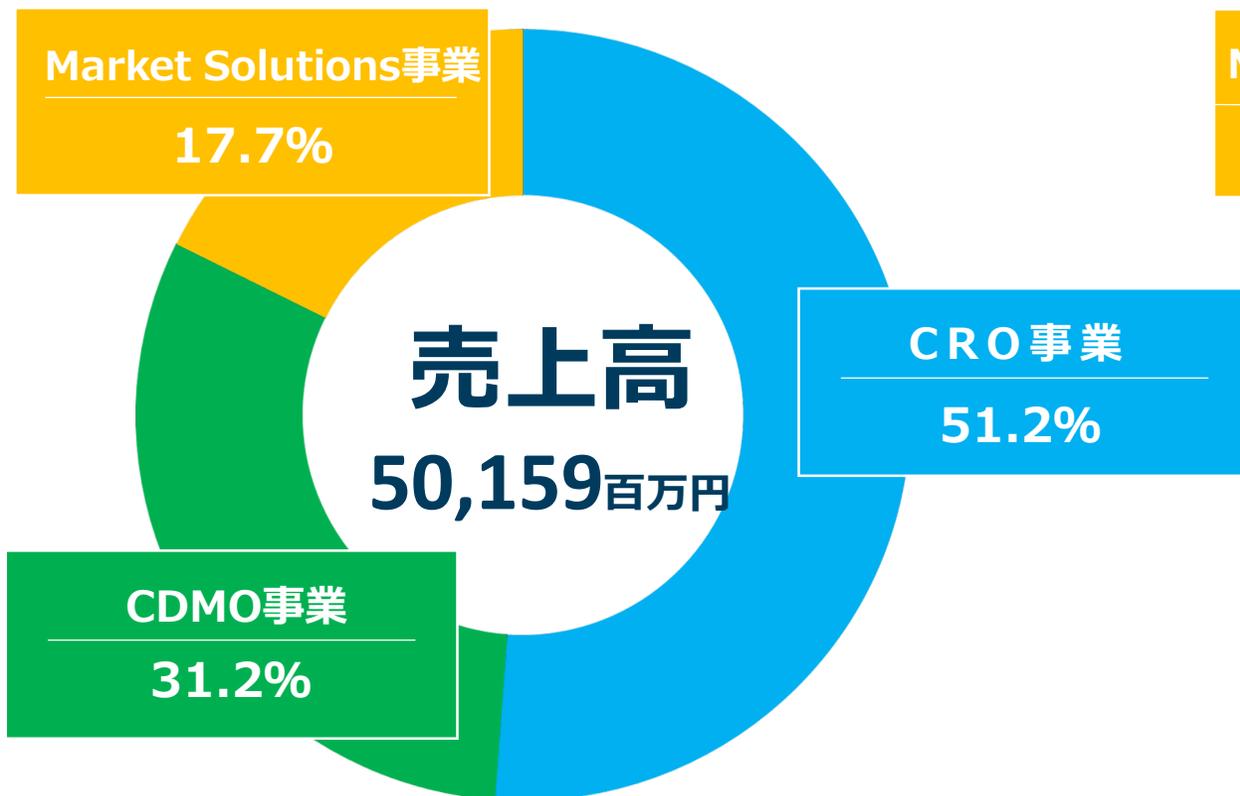
72.3%

営業利益 9,280百万円

営業利益率 11.8%

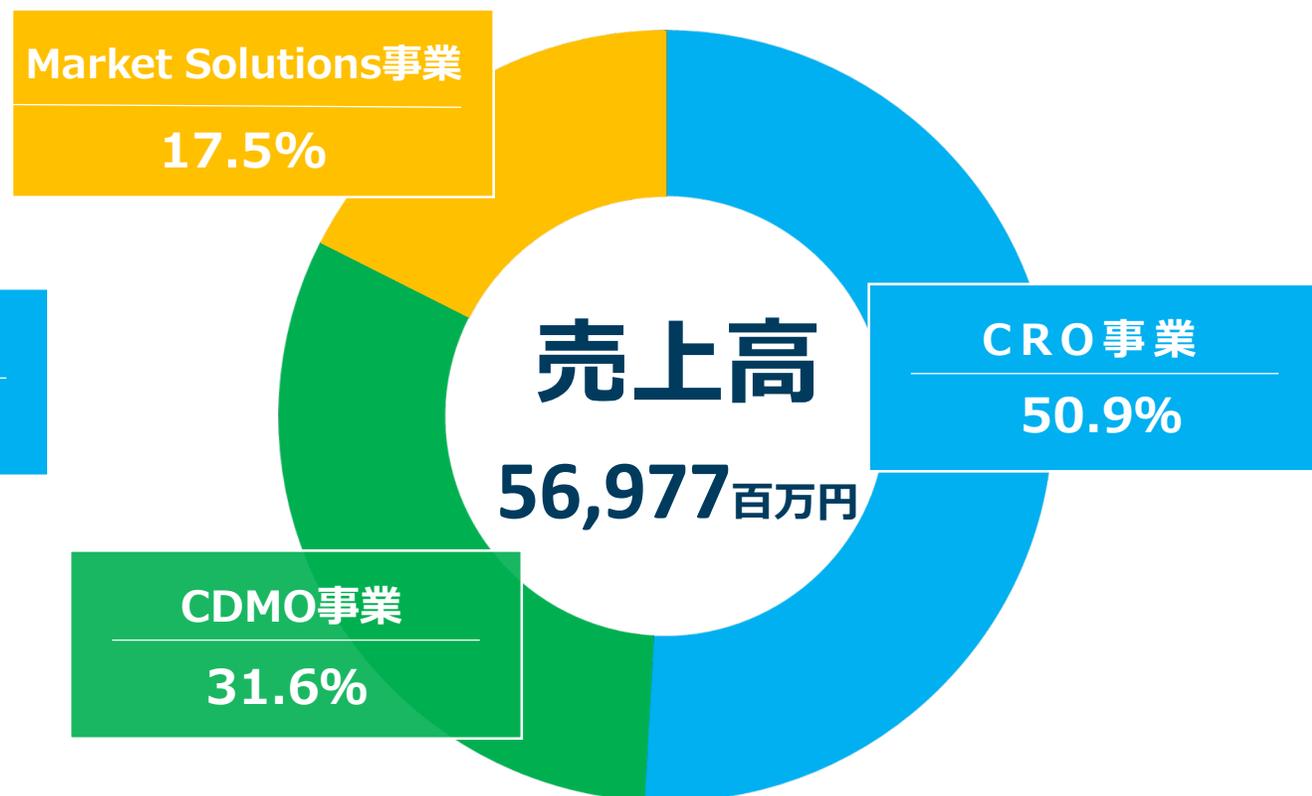
FY2021 Q3

FY2022 Q3



営業利益 3,632百万円

営業利益率 7.2%



営業利益 4,139百万円

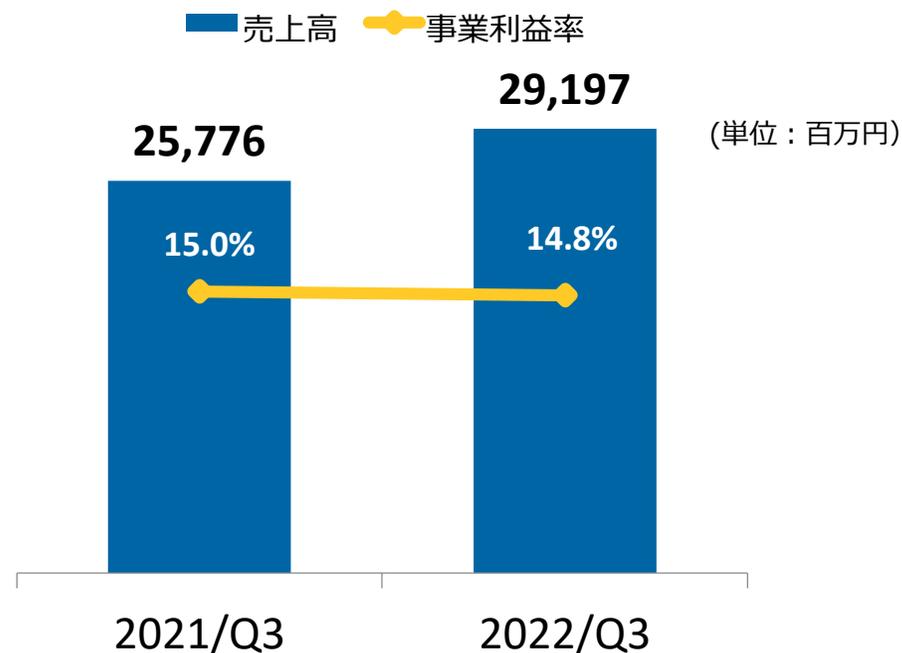
営業利益率 7.3%

事業セグメント — CRO事業 —

疾患予防・治療の研究開発を総合的に支援する事業

事業概況

- 売上高は前年同期を上回る。開発案件の引き合いが増加。
- Science 37®とDecentralized Clinical Trial (DCT) 促進と医薬品開発のスピードアップに向けた連携、DCT (遠隔診療、訪問看護、ePROなど) を取り入れた試験が増加
- ファーマコヴィジランス業務において、Oracle Argus Safetyマルチテナントレンタルサービスを開始
- バイオアナリシス業務において、次世代バイオ医薬品や遺伝子治療薬など、モダリティの多様化が進む先端領域の創薬支援



重点取組事項

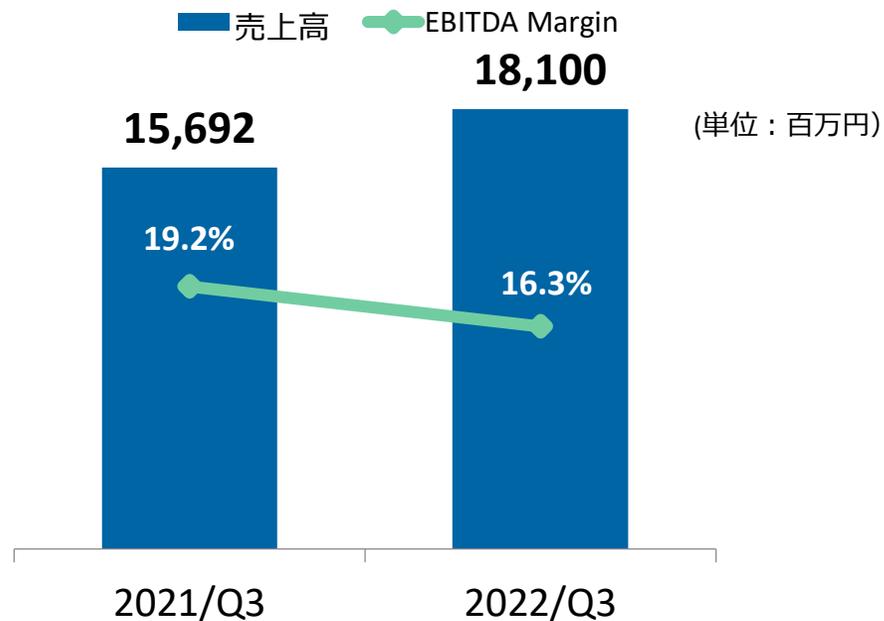
- バイオ・再生医療等の先端領域の開発支援強化 (アカデミア・BVから承認申請をフルサポート)
- DCTやRWDなどデジタル活用
- 日米ラボ連携による核酸医薬の積極的受託
- 多国間試験の積極的受託 (アジア共同治験、日米バイオ測定ビジネス)
- US、アジアビジネス展開
- 国内市場におけるNo.1シェア目標

事業セグメント – CDMO事業 –

治験薬から商用まで医薬品製剤ならびにバイオ原薬の開発・製造支援事業

事業概況

- 売上高は前年同期を上回る
- 新型コロナウイルス感染症拡大やジェネリック品質問題の影響に対し、安定供給の確保に向けたニーズが拡大
- 製造におけるエネルギー、原料、包装資材などの価格が上昇、納期の長期化などの供給不足リスクに対応
- 米国の業績回復遅れ、新規案件獲得に注力



※ 事業利益率 1.1%

0.7%

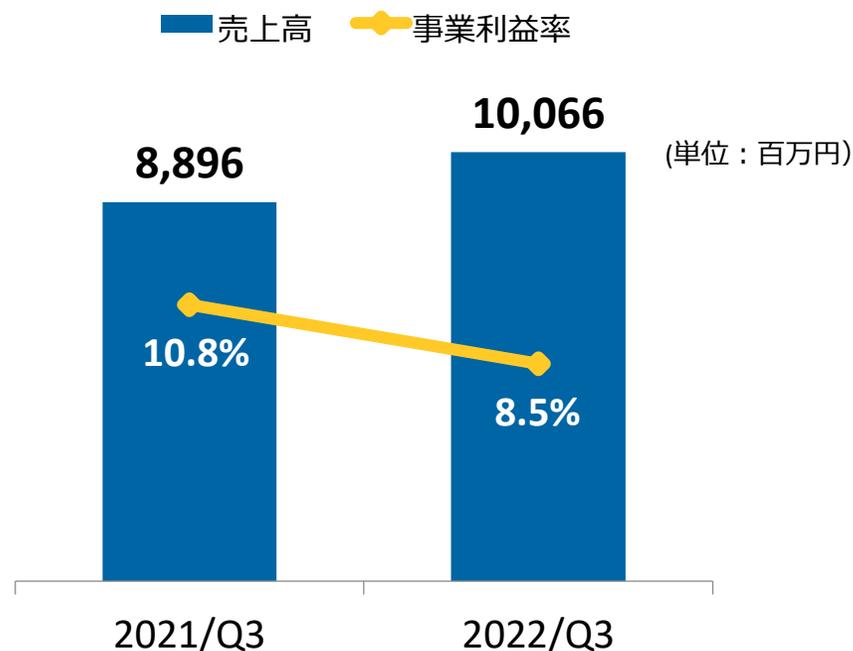
重点取組事項

- 足利注射剤棟生産の確実な実施と収益貢献
- 製剤技術のライセンス事業の本格展開
(マイクロニードル他)
- US新サイトでの業務拡大
- 国内製薬企業の戦略的パートナーとしての位置づけ強化

医薬品等のメディカル・営業・マーケティング支援事業ならびにオーファンドラッグ等の開発・製造販売・流通事業

事業概況

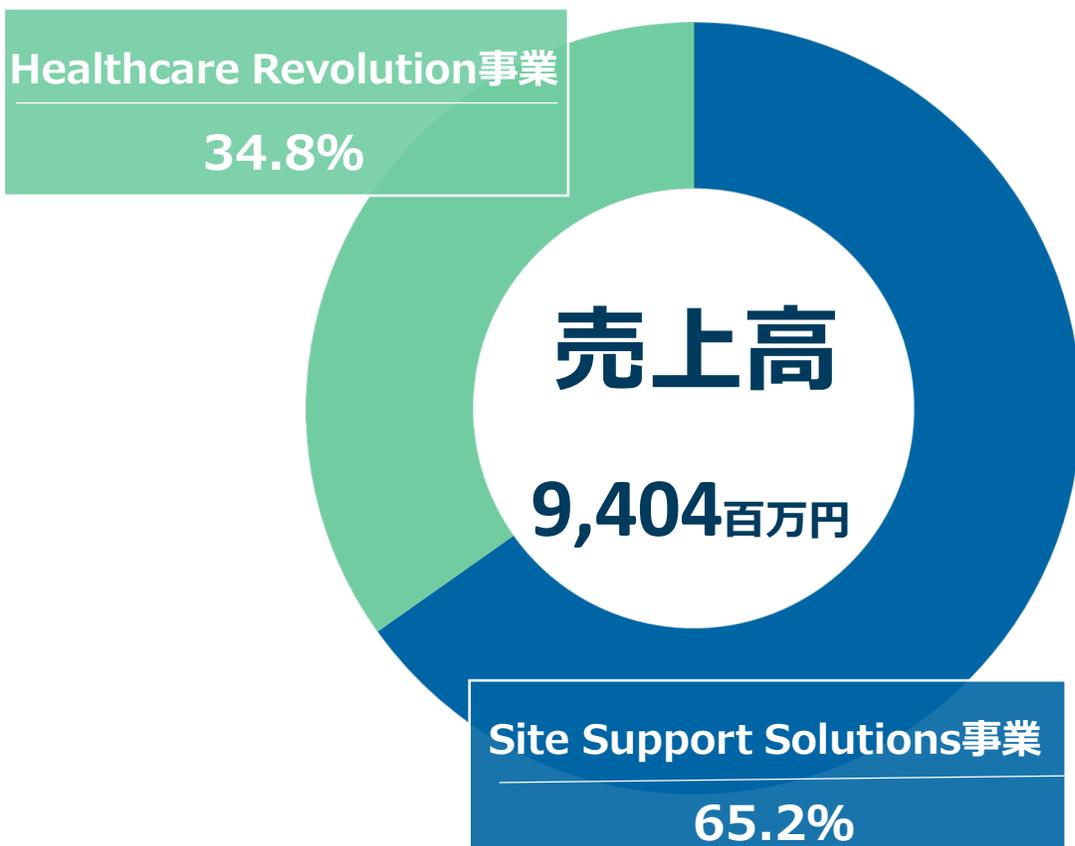
- 売上高は前年同期を上回る
- MR派遣業務において新規案件の獲得と既存案件が順調に進捗
- 尿素サイクル異常症治療薬グリセロールフェニル酪酸（海外販売名 Ravicti®）の日本における開発・製造販売に関する独占的ライセンス契約締結



重点取組事項

- MR派遣ビジネスでのポジショニング拡大
- MR、MSLの効率的採用
- ハイブリッドサービスの提供
- マルチチャネルの促進
- 新規オーファンドラッグの開発
- 海外製薬企業の日本市場進出支援

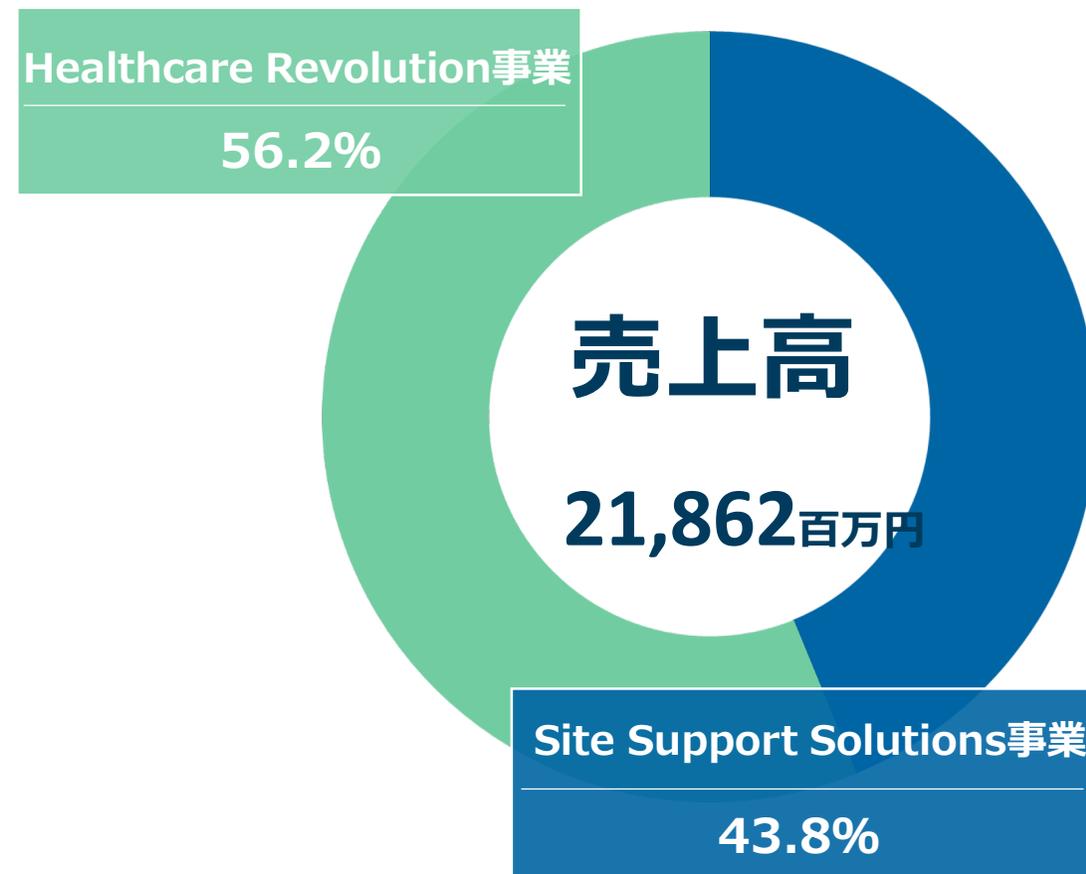
FY2021 Q3



営業利益 884百万円

営業利益率 9.4%

FY2022 Q3



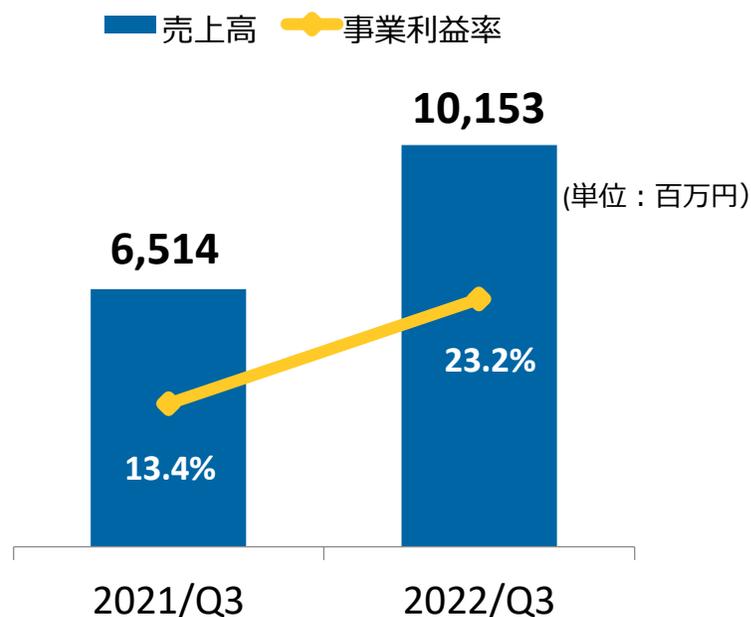
営業利益 6,210百万円

営業利益率 28.4%

医療関連施設および医療従事者を総合的に支援する事業

事業概況

- 売上高は前年同期を大幅に上回る
- 新型コロナウイルス感染症のワクチン及び治療薬等開発、コールセンター案件の増加
- 臨床試験（研究）をはじめとする医療機関向け支援ニーズも拡大
- アカデミアとの連携を促進



重点取組事項

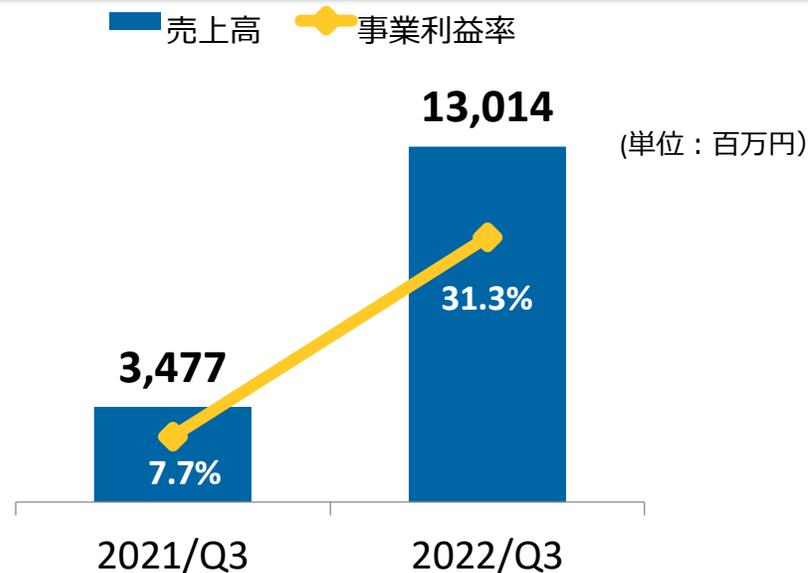
- 治療から予防・予後マーケットへの展開（予防治療薬やアプリ治験）
- 大学病院ネットワーク等への支援
- 地域医療におけるサービス提供

事業セグメント –Healthcare Revolution事業–

個人および自治体等にヘルスケアの新たなエコシステムを用いたソリューションを提供する事業

事業概況

- 売上高は前年同期を大幅に上回る
- 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種支援業務等が大幅に増加
- 疾病予防・健康情報やIT技術を融合したビジネスの拡大に取り組む
- 地方自治体との連携を促進
- Healthcare Communication Channelとしてharmo®のPHR等への活用推進
- セルフチェックサービス「Selcheck®」の促進



重点取組事項

- harmo®を使ったヘルスケアサービス拡大とデータ利活用
- 自治体、企業向けヘルスケアサービスの拡充
- セルフチェックサービスの展開
- ヘルスケア人財の育成、確保

連結貸借対照表（資産の部）

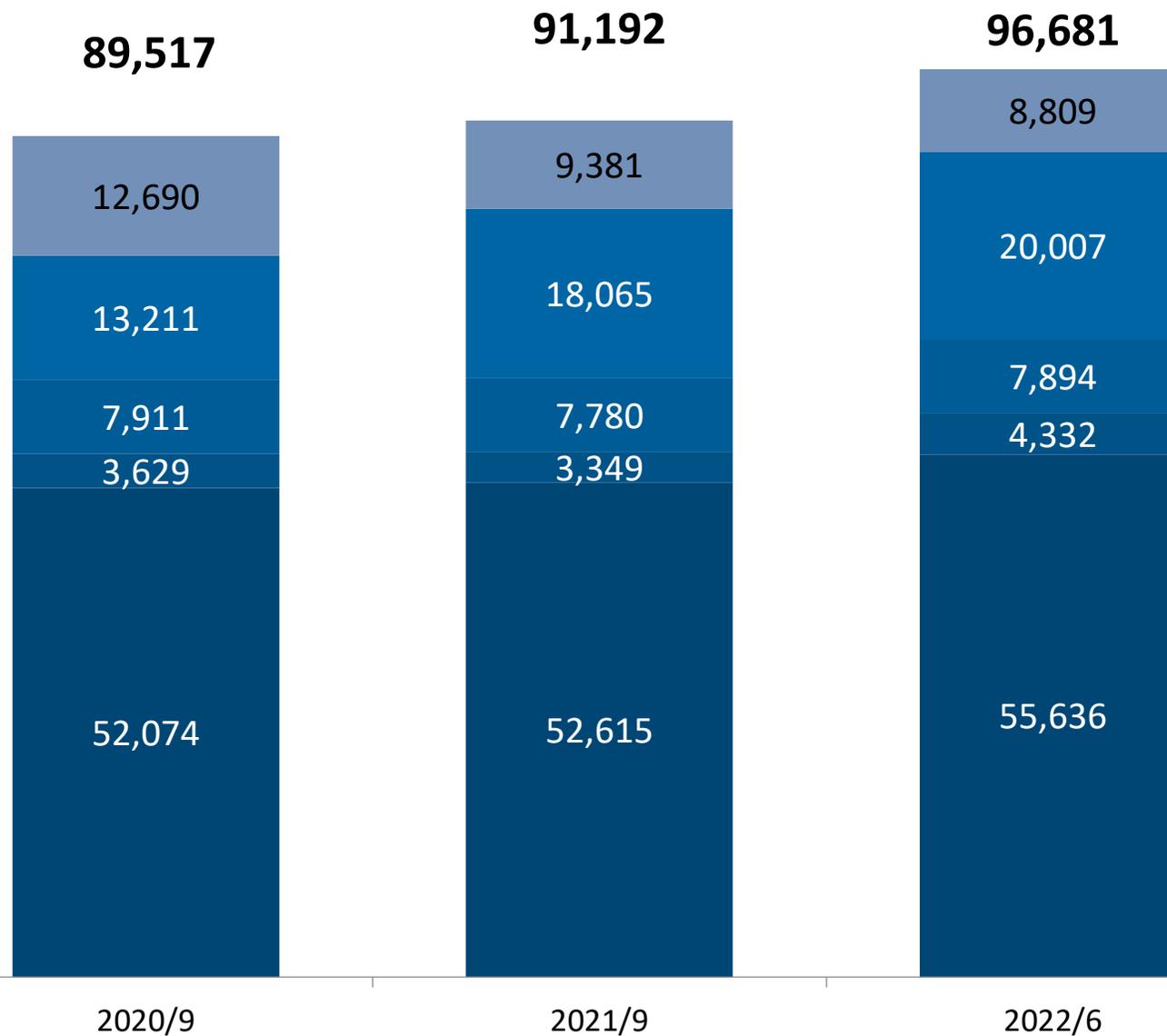


(百万円)

100,000

50,000

0



総資産	+5,488
■ 現金預金	△571
■ 売上債権	+1,942
■ 棚卸資産	+114
■ その他流動資産	+983
■ 固定資産	+3,021

連結貸借対照表（負債の部・純資産の部）

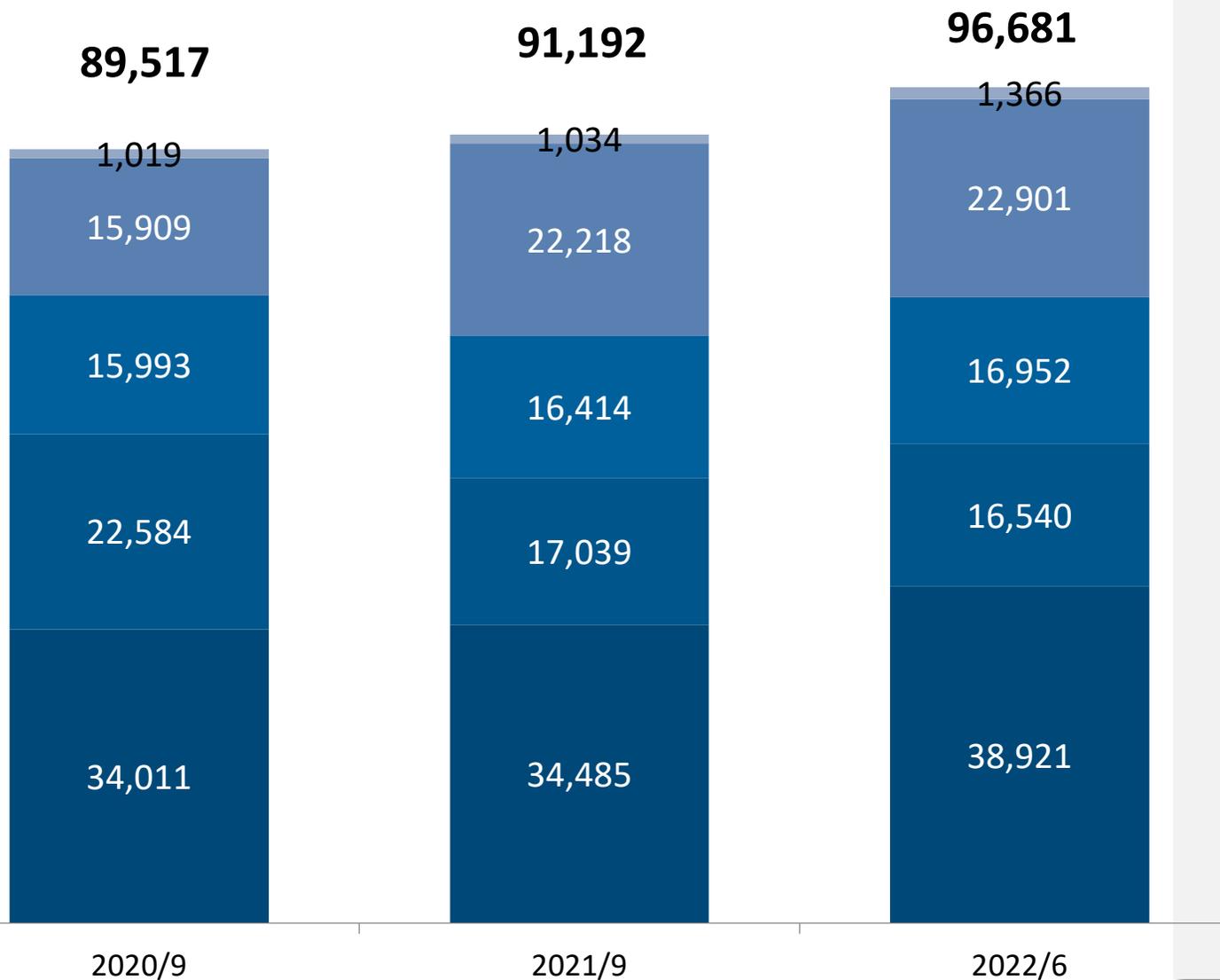


(百万円)

100,000

50,000

0



仕入債務	+331
その他流動負債	+683
その他固定負債	+537
有利子負債 (リース債務を除く)	△499
純資産	+4,435



2022年9月期 業績見通し





新型コロナウイルス感染症関連

- 治療薬及びワクチン開発案件は継続
- 感染再拡大による自治体からの引き合いが増加

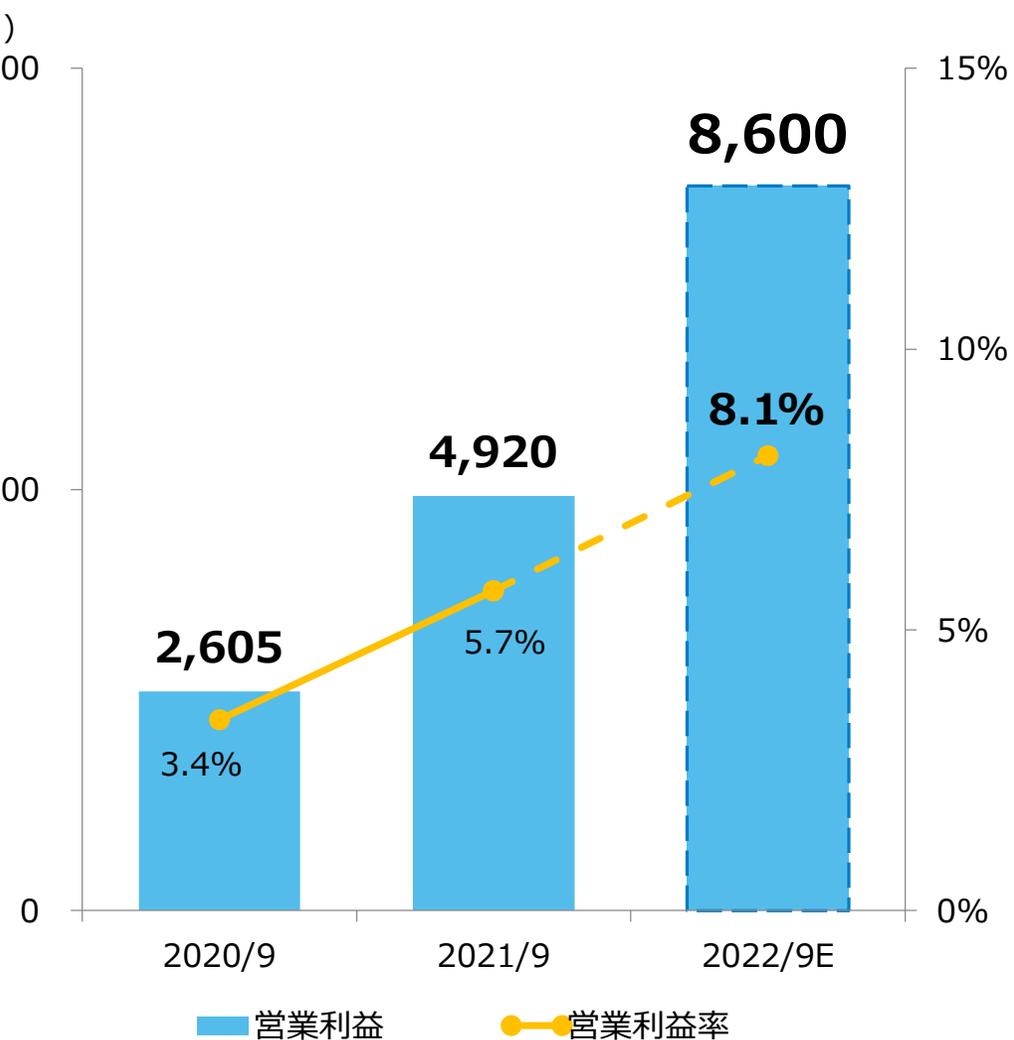
ロシア・ウクライナ情勢

- エネルギー、原料、包装資材などの価格高騰を織り込むものの、今期影響は限定的
- 供給不足リスクに対し、顧客や調達先と引き続き連携
- 臨床試験における影響は軽微

2022年9月期 通期見通し



	2021/9 実績 (百万円)	2022/9 修正見通し (2022/4/28) (百万円)	2022/9 修正見通し (百万円)	(百万円) 10,000 対修正見通し 増減率 (%)
売上高	85,788	97,000	106,000	+9.3
営業利益	4,920	7,600	8,600	+13.2
経常利益	5,091	7,800	9,200	+17.9
親会社株主に帰属 する当期 純利益	2,023	3,900	4,500	+15.4
1株当たり 当期純利益	111円85銭	217円30銭	254円49銭	





本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

